



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### バハレーン：シーア派住民と治安部隊との衝突

(現地報道取り纏め)

1. 3月29日、ブダイヤ・ハイウェイに集まったシーア派の若者がタイヤや木片等を燃やした為、治安部隊が催涙ガスを使用した。これに対してシーア派の若者等は火炎瓶を投擲する等し、治安部隊は数名の身柄を拘束した。この騒ぎでブダイヤ・ハイウェイの交通（首都マナマ方面）が約1時間にわたって遮断された。（3月30日付「ガルフ・デイリー・ニュース」紙）
2. 4月6日午後7時30分頃、2月以来拘留されているバハレーン人の釈放と基本的人権を求める平和的座り込みデモに参加した市民と治安部隊が4時間にわたって衝突し、治安部隊は暴徒鎮圧用ゴム弾と大量の催涙ガスを使用した。これにより、サナービス地区の道路は封鎖され、路上には燃やされたタイヤやゴミが散乱した。目撃者によると、治安部隊がサナービス地区西部の民家に踏み込み、若者2名を逮捕した。同人等は警察官に激しく殴られた後、釈放された。（4月7日付 Bahrain Website : 反政府系ウェブサイト）
3. 15日午後8時頃、シトラ地区の発電所付近で暴徒等がガスボンベを爆発させた。これにより、シトラ地区及び隣接するサナド地区、イーストリファ地区合わせて200世帯が停電となり、シトラ地区の一部私立病院と薬局は、同地区で継続的に起こる妨害行為及び暴動の発生を危惧し、安全な場所へ移転することとなった。（16日付「アル・アイヤーム」紙）
4. 15日、バハレーン国内全域で先例を見ない厳しい警戒が実施された。殆どのシーア派の村、特にブダイヤ・ハイウェイ沿いのカラーナ、サナービス、アッデー、アブサイバー、シャフーラ、ジッダハフス、及びシトラの各地区に多数の治安部隊が配置され、治安当局のヘリがこれら地区の上空を哨戒した。
  - (1) アッデー地区：午後7時30分頃、暴徒等と治安部隊との衝突が発生。
  - (2) アルモウサラ地区：国道上で数十人のシーア派の若者等が計画していた無許可デモが治安部隊により阻止された。
  - (3) ダミスタン地区、カルザカン地区：ゴミやタイヤに火を放つ暴徒等と治安部隊が衝突。
  - (4) アッデー地区とジッダハフス地区を結ぶ道路上：暴徒等が治安部隊と衝突、これら地区の住民数名が催涙ガスによりサルマニア病院で処置を受けた。（16日付「アル・ワサト」紙）